

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

市政報告会を行います

お買い物やお出かけのついでにお気軽にご参加下さい！

入退場自由
参加無料
飲食OK!

報告会では、それぞれの一般質問と市からの回答について深堀りします。
※子育てやお仕事忙しい方のために、Xでオンライン配信もいたします。

1月28日(火) 18時～20時

パピオスあかし2階あかし市民広場 JR明石駅南口すぐ
(明石市大明石町1丁目6-1)



Xでオンライン配信も行います。
日頃の情報発信もしていますので、
ぜひフォローをお願いいたします。

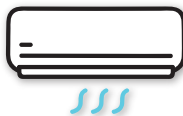


2024年4月のあかし市民広場 市政報告会の様子

市政トピック

市議会&市民の会で訴えてきた政策が次々と実現！「市民目線」で、誰一人取り残さないやさしいまちへ！

① 今年夏に向けて 全中学&明石商業高校の 体育館の空調整備へ



近年の猛暑により、熱中症のリスクも増加。災害時には避難所にもなり、市議会として早急な空調整備の必要性を訴え続けてきました。小学校における整備も求めていきます。

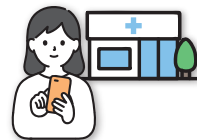
② 市内に小児科診療所が 2つ増えます

子どもの人口に対する小児科数が全国・兵庫県平均から低い本市。市民の会で提案した「開設補助制度」導入を経て、2件の助成が決定。さらに子育てしやすいまちを目指します。



③ 病児保育のオンライン受付が開始

今まで営業時間内の電話受付のみで、つながりづらい現状も。そこでオンラインによる24時間受付を市民の会が提案し、このたび導入。職員の電話対応時間も減り、業務効率化へ。



④ フリースペースの2箇所目 1月オープン

学校でも家庭でもない「こども第三の居場所」であるフリースペースは、今まで市東部のみで定員に限りも。市民の会の提案をきっかけに、1月下旬に魚住駅周辺に設置予定です。



⑤ 大蔵海岸エレベーター稼働時間延長

22時～翌5時の稼働休止時間は、車イスや高齢者、自転車の方の通行が不自由で、大幅な迂回が発生。市民の会の提案で、朝霧駅に終電が着く深夜1時半まで稼働させる社会実験が開始されました。



9月～12月の活動など



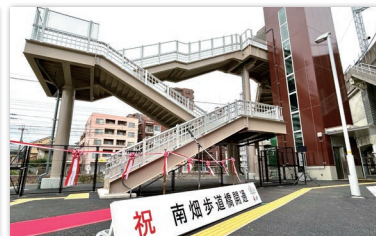
会派として市長に
来年度予算要望を提出



議会運営委員会
豊橋市等の先進事例の視察へ



豊かな海につなげる
施肥活用策を視察



まちの声が活かされた
南畑歩道橋の開通式へ



明石市漁業組合連合会の議員勉強会で
明石鯛の調理実習に挑戦



プレーパークでは
子どもたちの笑顔に触れる



BBQの炭ごみ解決に向けて
地域の子どもたちと協力

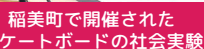


移動式バスケット設置の
社会実験で政策実現

やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属(委員長)

スケートボードの環境整備に向けた社会実験&持続可能な地域ボランティアについて

①騒音やニーズ調査を含めたスケートボードの社会実験を実施しないか。②熱中症対策として、ボランティアの方が補助金の中でドリンクが購入できるように補助金の対象外経費を緩和しないか。

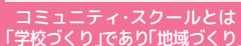


①若い世代を中心に、近年愛好者が増えていることは認識している。先進地の状況等も調査の上、今後研究していく。②来年度から、近年の猛暑の実状に合うように助成対象の見直しを検討していく。

くろだ ともこ
文教厚生常任委員会所属(副委員長)

地域共生社会に向けた コミュニティ・スクールの推進について

コミュニティ・スクールは、学校づくりも地域づくりも、学校・家庭・地域が一体となって頑張る仕組み。理解を広く浸透させる取組に加え、学校が推進できるように教育委員会が伴走できないか。

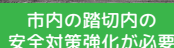


広報あかしやコミュニティ・スクール情報紙の特集号などの広報を検討。フォーラムは実施していく。教育委員会で学校ごとの現状を把握し、学校をサポートしていく。市も教育委員会と共に推進していく。

かなお よしのぶ
生活文化常任委員会所属

放課後等デイサービスの現状と今後について

子どもの障害の事情と関係なく、親の収入で費用負担額が決定する現状がある。子どもを真ん中に、家族の声を広く聴ける仕組みづくりと、障害児と家庭が共生できる社会づくりが必要ではないか。

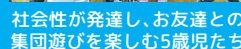


子育て家庭の利用者負担額の軽減は重要だが、さらなる軽減や無償化導入には、制度の持続可能性の問題も。乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまで、地域で安心して暮らせるよう取組を進める。

なかがわ なつみ
総務常任委員会所属

市民やこどもが安心できる 環境の整備について

①市内1/3にあたる学校のプールの老朽化が進んでいる。全市的な整備計画を策定しないか。②国が推進する『5歳児健診』は、就学前の社会的な発達状況の確認も目的とする。明石市も実施しないか。

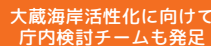


①修繕による対応が限界の場合、全面改築と民間委託を比較検討。②現在5歳児には問診票を送付。保育施設等と連携を強化し、保護者が子どもの発達特性に気づきやすくなるよう多面的に取り組む。

やました しょう
建設企業常任委員会所属

制度の間で取り残された 子育て世代の支援＆文化芸術振興施策を

①多子世帯が利用しやすいファミサポ制度に。②「子育て6つ目の無料化」として不妊治療助成を。③本市PRも目的に、芸術家を招き滞在を支援するアーティスト・イン・レジデンスの社会実験を。



①国の実施要綱に沿っているが、柔軟に対応していきたい。②重要な課題。子育て支援のさらなる充実のために検討したい。③高松市の事例も。国や他地域の動向も踏まえて調査研究していきたい。

委員会報告：中川 夏望

スマートシティ構想に基づく「課題解決型実証プロジェクト」や、企業の実証実験を募る「フィールド提供型実証プロジェクト」は、本市の民間提案制度の新たな気づきに。

郷土愛の醸成や意見の市政反映を目的にした事業提案制度によって、32事業が実現。子ども・若者の声を取り入れようとする本市が目指す好例を知ることができました。

消防団員が増加中のまち。団員拡充策やドローンを活用した取組、会社員でも携わりやすい限定的な活動「機能別消防隊」等を研究。明石市の地域防災力強化の参考に。

